YOKOHAMA BUSINESS SCHOOL 2025

出願期間

2024年
10月22日(火)～
10月28日(月)

第1次選抜
学力検査／小論文
2024年11月16日(土)

第2次選抜
口述試験
2024年11月30日(土)

横浜ビジネススクール YBS

YBS は、横浜という国際都市を拠点に多様なバックグラウンドを持つ社会人たちが集い、互いを刺激し合いながら成長できる活気あふれる学びの場です。

企業等での実務経験 3 年以上を有する方を対象に、経験豊富な教授陣による丁寧な指導のもと、イノベーション、サステナビリティ、ダイバーシティに関する最先端の経営理論など、現代ビジネスで求められる幅広い知識を習得できます。

少人数制ならではの活発なディスカッションを通じて、問題解決能力やコミュニケーション能力を向上させ現代の変化の激しい環境で活躍できるビジネスパーソンへと成長する場を提供します。

オンラインと対面のハイブリッド形式を採用し、時間や場所に縛られず、効率的に学習を進めることができます。

徹底した少人数による教育・研究

きめ細やかなサポートであなたのポテンシャルを最大限に引き出します。

ゼミ形式の「演習」において、各演習6名に対して教員2名が担当するという徹底的な少人数制と高い質を求めるモットーを基にあなたの経営課題にその場で答え、一人ひとりのペースに合わせて丁寧な指導を行います。少人数制だからこそできる、活発なディスカッションを通じて、多様な視点から問題解決能力を養います。2年間という時間を共にした教員やお互いを高めあった仲間との絆は、一生の財産となります。

経験豊富な教授陣

教授陣は、常に最新のビジネストレンドを踏まえた研究に精通しており、受講生に最先端の知識を提供します。また教授陣の多くは、企業経営やコンサルティングなど、様々な分野で実務経験を積んでいます。その経験と最新理論に基づいた講義やケーススタディを通じて、受講生は、理論だけでなく、実際のビジネスシーンで活かせる実践的な知識とスキルを習得できます。

仕事との両立を考えた柔軟なカリキュラム

忙しい社会人も無理なく学べる

平日夜間は、ご自宅にいながらオンラインで気軽に授業を受講できます。土曜日は、緑豊かな保土ケ谷キャンパスで対面授業やディスカッションに集中できるインタラクティブな環境をご用意。仕事と学業を両立したい社会人の方にとって、最適な学習スタイルです。

柔軟なセメスター制で、あなたのペースで学びを

1年間を春・秋 2学期制とし、各学期 12週間で集中して学びを深めます。ご自身の都合に合わせて、無理なく学習計画を立てられます。

Timetable 2025

曜日	午前 9:50～12:00	午後 13:00～15:10 / 15:20～18:00	夜間 18:50～21:00
月～金	―――	―――	オンライン講義
土	対面講義	対面講義	―――
日			

現代のビジネス課題に即した演習テーマの設定

YBSでは、毎年度2つの演習テーマを設定しています。これらテーマは、企業が直面する最先端の課題を反映しています。2年間の演習期間中、各テーマに精通した教員のもとで深く学びを深め、受講者が将来のビジネスリーダーとして活躍するために必要な知識とスキルを習得できる、充実したプログラムになっています。

1年次

- 春学期　指導教員による特定研究テーマの指示・指導（ワークショップ演習）
- 秋学期　プロジェクト演習Ⅰにて特定課題研究計画の指導

2年次

- 春学期　プロジェクト演習Ⅱにて特定課題研究計画の指導
- 秋学期　プロジェクト演習Ⅲにて特定課題論文の作成
- 11月　特定課題論文名を申請
- 2月　特定課題論文の提出
- 3月　プロジェクト報告会にて発表（最終試験）

プロジェクト報告会（最終試験）

過去の演習テーマ一覧

年　度	テーマ	担当教員
2024年度	持続的な競争優位のための戦略と組織変革	高井 文子教授／山岡　徹教授
	社会課題解決に向けた価値共創 ―不確実性の時代におけるビジネスシステム	大雄　智教授／竹内 竜介教授
2023年度	イノベーションの普及戦略	真鍋 誠司教授／横澤 公道准教授
	日本式オペレーションの再考察	倉田　久教授／鈴木 定省教授
2022年度	企業のダイバーシティ&インクルージョン（D&I）戦略：人的資源管理論（HRM）と組織行動論（OB）からのアプローチ	二神 枝保教授／佐々木秀綱准教授
	サステナビリティ時代における価値創造戦略とコミュニケーション	大森　明教授／高橋　賢教授
2021年度	社会的課題とイノベーション：組織・戦略の再定義	河野 英子教授／大沼 雅也准教授
	デジタル変革とビジネス価値～認識科学と設計科学の統合	田名部元成教授／髙須 悠介准教授
2020年度	革新のための組織と戦略―ICT時代の処方箋を探る	山岡　徹教授／谷地 弘安教授
	価値創造ストーリーの実現に向けたリスクマネジメント	前山 政之教授／大雄　智教授
2019年度	グローバル・ビジネスの戦略とコントロール：その進化と展望	竹内 竜介准教授／中村 博之教授
	消費者行動とマーケティング戦略 ―行動科学&経済学によるデュアルアプローチ	寺本　高准教授／森田　洋教授
2018年度	組織イノベータの採用・育成・活用：組織と社会の革新に向けて	服部 泰宏准教授／真鍋 誠司教授
	価値創造戦略のための経営と会計	高橋　賢教授／ヘラー・ダニエル教授

※ 職名は当時

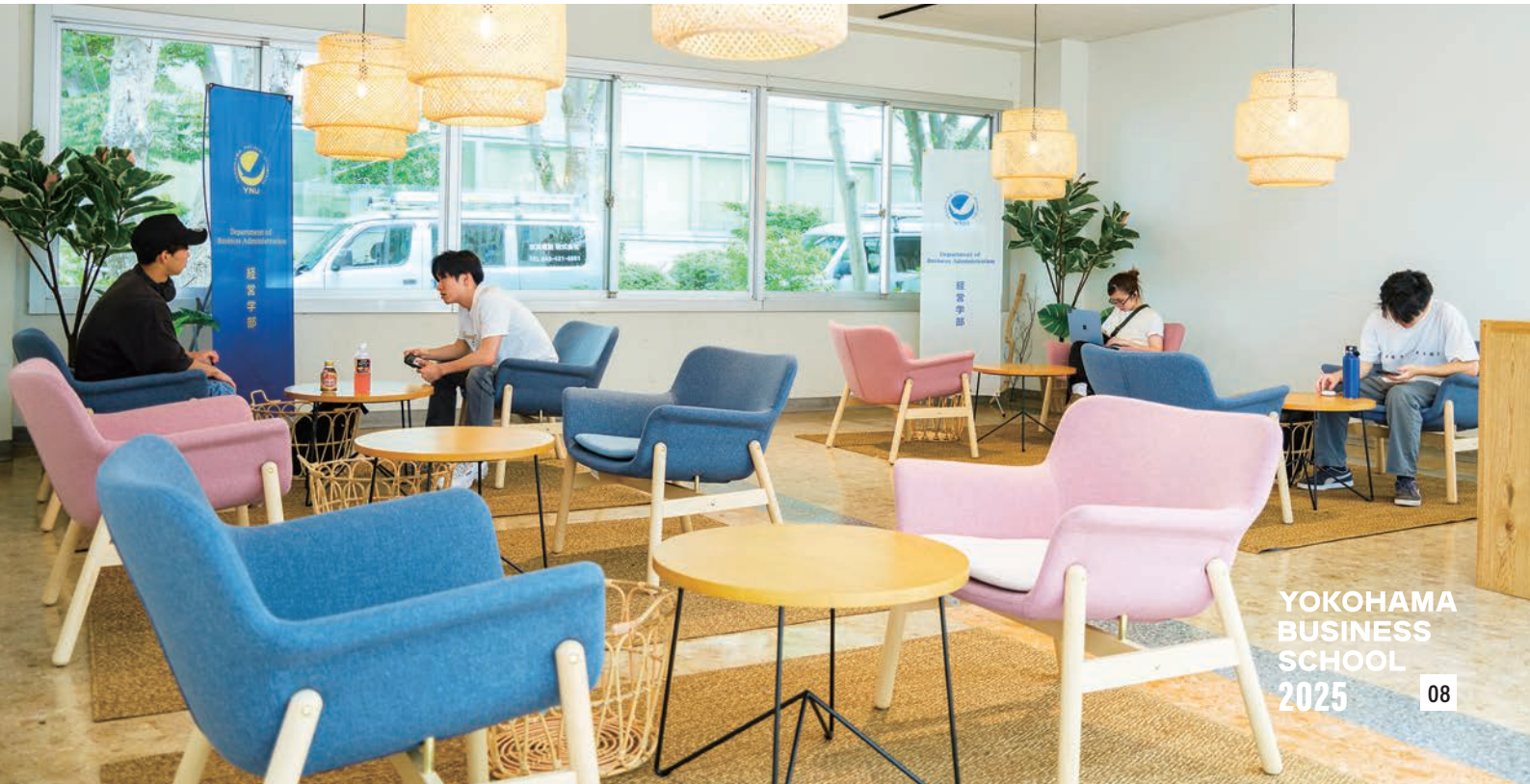
高品質な教育を経済的に実現

国立大学法人の特長である低廉な入学金・授業料に加え、文部科学大臣認定の『職業実践力育成プログラム（BP）』として、専門性の高い実践教育を展開。最大 70% の教育訓練給付金が利用可能で、2 年間で約 40 万円という費用で、質の高い教育を受けることができます。

Brush up Program for professional

費　目	初年度	2 年目	2 年間合計	教育訓練給付金支給額（最大）	自己負担額
入学料	282,000 円	————	282,000 円	————	————
授業料	535,800 円	535,800 円	1,071,600 円	————	————
合　計	817,800 円	535,800 円	1,353,600 円	947,520 円	406,080 円

注：ただし、奨学金の給付や授業料等の免除によって支給額は異なります。給付金の申請手続きはご自身で行う必要があります。
受給資格や給付の条件については、お近くのハローワークでご確認ください。



2025年度
演習テーマ

2025年度も魅力のある2つのテーマで
学生を募集しております。

演習A

サステナビリティとイノベーション
組織・戦略の評価と再設計

大森　明

河野 英子

現代の企業は中・長期的に企業価値を向上させつつ、サステナビリティに関連する諸課題（社会課題や環境問題）の解決に貢献していくために、イノベーションを起こしていくことが求められています。そこで本演習では、企業と社会が持続的に発展する社会の実現に向けて、サステナビリティとイノベーションの効果的な結びつきを探求することを目的としています。具体的には、サステナビリティの実現に寄与するイノベーションとはどのようなものか、それを実現するためにはどのような組織構造や戦略が求められるのか、そして、企業がその実現に向かっているかを適切に評価する仕組みはどうあるべきか、ということを考えていきます。こうした検討を通じて、組織を変革し、新たな戦略を策定・実行しながらイノベーションを推進し、その道のりを適切に評価できる、サステナビリティ社会の実現を志向する人材創出を目指します。

2025年度 演習テーマ

演習B

ビジネス・インキュベーションによる企業成長

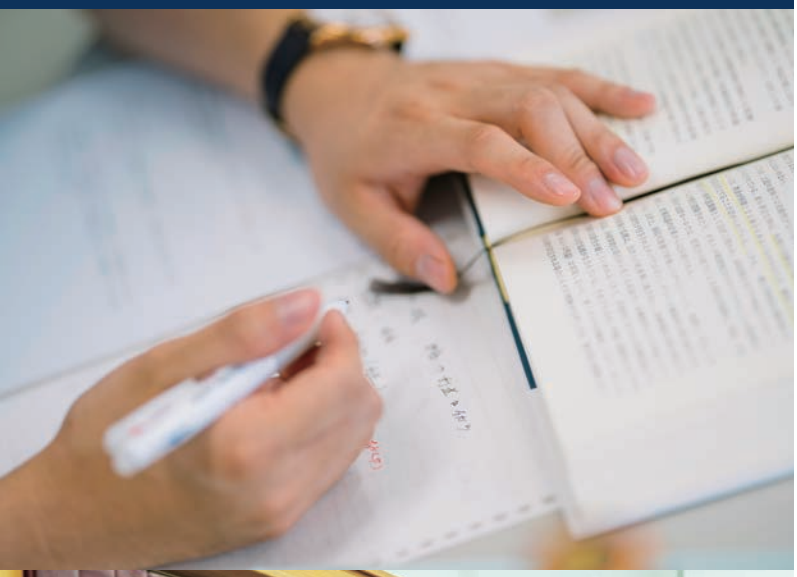
マーケティングとアカウンティングからのアプローチ

鶴見 裕之

君島 美葵子

本演習の狙いは、中小企業・中堅企業（あるいは大企業の事業部）における経営層や将来の経営を担う潜在的な候補者が、企業や事業の成長・再生を促進するビジネス・インキュベーション（事業孵化）に関する実践的な知識とスキルを習得することにあります。現在、経営資源の不足、市場競争の激化、技術革新の加速、グローバル化の進展など、企業を取り巻く環境は目まぐるしく変化しています。このような状況下で、従来の延長線上の戦略では生き残りが困難となることが予見されているにも関わらず、日々の売上確保に追われて、企業や事業の将来的な成長を実現するビジョンを描けずにいる企業も多く見られます。この現状を鑑み、本演習では、演習参加者がマーケティングやアカウンティングに関する情報を社内外から収集し、その分析を通じて、新たな成長機会を創出するための具体的なアクションプランを策定する能力を養うことを目指します。

講義科目



少人数制の活発なディスカッションを通じて、ビジネスの根幹を支える力を養成。戦略、組織、マーケティングなどの講義を通じ、企業の成長に不可欠な知識とスキルを習得し、変化の激しいビジネス環境に対応できる実践的な思考力を身につけます。当スクールでは、理論と実践のギャップを埋めることを重視。学んだことを即戦力に変え、企業の成長戦略を策定し、実行するための力を養います。また、実践から新しいビジネスモデルを創出し、イノベーションを牽引する人材育成を目指します。1年生2年生や、他の演習に所属する学生と交流する場ともなっているのが講義科目です。

- リサーチ・メソッド
- 戦略マネジメント
- 経営組織
- 技術マネジメント
- マーケティング・マネジメント
- ヒューマンリソース・マネジメント
- グローバル・マネジメント
- マーケティング・アナリティクス
- ファイナンス論
- 特殊講義　M&A
- 特殊講義（Global Joint MBA Intensive Program）
- 特殊講義（Shanghai Study Visit [Business and Economy in China]）
- 特殊講義（標準化とビジネス）
- 管理会計
- 財務会計
- サステナビリティ・マネジメント
- アカウンティング
- 企業財務
- ビジネス統計学
- 組織変革
- マネジメントと社会
- オペレーションズ・マネジメント
- ビジネス・シミュレーション
- 国際会計
- 経営史

過去に開講した授業内容です。次年度以降、教員・概要の変更や開講しない科目となる場合があります。

YBS 在学生の声

Q ビジネススクールに進学した理由は？

A 研究開発の業務において、ビジネス視点を取り入れる必要性を感じており、それを実現する学びができる環境だと考えたためです。

Q YBS を選んだ決め手は？

A 平日の授業をオンラインで受講できるため仕事への影響が少ないこともありますが、1 番は演習テーマが仕事で抱えている課題と合致していたことが大きいです。

Q どのように勉強に取り組んでいますか？

A 各科目の予習はしっかり行い、理解できていない部分を授業で確認するようにしています。また、課題が期限までに仕上がるよう、時間管理にも注意しています。

Q 演習の雰囲気はどうですか？

A 異なる経験や専門性を持つメンバー同士が、お互いの研究テーマについて活発な意見交換しているので、楽しみながら、学びができている環境だと感じています。

Q 役に立ったところは？

A 講義や演習での学びによって、自身の業務範囲を超えて、考え行動することに繋がっています。また、思考のクセを理解し、改善する機会にもなっています。

Q どんな仲間たちと学んでいますか？

A 幅広い業界、職種、年齢のメンバーと学んでいます。学校の同級生だからこそ、忖度なく実務に直結した議論が出来、ここでしか味わえない学びの機会になっています。

Q 入学してよかったですか？

A 入学して本当によかったです。少人数で手厚いサポートがある YBS だからこそ、迷いながらも成長することができ、そして一生の友人と出会うことができました。

2023 年入学　豆田 啓介

所　属：株式会社レゾナック

演習 A テーマ

「イノベーションの普及戦略」

YBS 在学生の声

Q ビジネススクールに進学した理由は？

A 製造業での経験を活かしながら、ビジネストレンドや理論を学びたいと思ったことと、多様なバックグラウンドを持つ同級生や教授陣とネットワークを構築することで、異なる業界の知見を得たいと思ったからです。

Q YBSを選んだ決め手は？

A 演習テーマが、業務経験の中で感じていた課題や疑問と合致したことが決め手になりました。入試説明会で紹介された内容が心に響いたことも大きかったです。

Q どのように勉強に取り組んでいますか？

A 隙間時間や休日のまとまった時間を有効活用しながら、課題については早めに余裕を持って仕上げるように心がけています。

Q 演習の雰囲気はどうですか？

A 演習の雰囲気は非常に和やかで、常に笑いが絶えません。時にはユーモアを交えた発言が飛び出し、リラックスしながらも真面目に議論をしています。

2023年入学　蓑田 稔治
所　属：株式会社ダイセル
演習B テーマ
「日本式オペレーションの再考察」

Q 役に立ったところは？

A 同級生とのディスカッションを通じて、異なる業界の事例や挑戦を知る機会が多くありました。また、講義や演習での取り組みを通じて、自分の強みや改善点を認識する機会が多くありました。これらの経験は、自分の業務の幅を広げる助けとなり、自己成長に繋がっていると思います。

Q どんな仲間たちと学んでいますか？

A YBSで学ぶ仲間には、豊富な経験を持つベテランや、最前線で奮闘している若手がいます。ベテランからは実務の知恵を学び、若手からは新しい視点やエネルギーを受け取っています。

Q 入学してよかったですか？

A 少人数であることの利点として、教授陣と学生同士の強い信頼関係と、そこから得られる安心感が挙げられます。学びの場としてとても充実しており、入学して本当によかったと思います。

概　要

［学 校 名］国立大学法人横浜国立大学

［課 程 名］大学院国際社会科学府
経営学専攻（博士課程前期）
社会人専修コース

［所 在 地］神奈川県横浜市保土ケ谷区
常盤台 79-4

［入学定員］12 名
（演習 A：6 名／演習 B：6 名）

［修了要件］2 年以上在学し、所定の単位 32 単位（講義科目 20 単位以上、演習 12 単位以上）を修得し、特定課題論文の審査及び最終試験に合格すること。

［取得学位］修士（経営学）

学生募集概要

［入学者に求める知識や能力・水準］
- 経営学領域及びその関連領域に関する基礎的な知識
- 経営事象に関する基礎的な説明能力

［出 願 資 格］
- 大学学部卒業以上（それ以外の方は資格審査を行います）
- 本学入学までに 3 年以上の実務経験のある方

［出 願 期 間］10 月

［選抜方法等］11 月
- 第 1 次選抜：書類選考 & 筆記試験
  ↓合格
- 第 2 次選抜：口述試験

YOKOHAMA BUSINESS SCHOOL 2025

横浜国立大学 社会科学系事務部 大学院学務係

Tel: 045-339-3684
E-mail: int.gakumu-all@ynu.ac.jp

https://www.b.ynu.ac.jp/ybs/index.html